

平成22年度事後評価報告書(フォローアップ報告書)

① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	商業床面積	m ²	4,500	10,000	10,700	確定 見込み ●	○	あり なし	10,700	H22年6月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	計画通りに施設が竣工し、従前と比較して大幅に増加した。(目標達成率107%)
指標2	定住人口	人	180	1,700	1,585	確定 見込み ●	△	あり なし ●	1,572	H22年6月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値には届かなかったが、目標の9割以上を達成した。(目標達成率92%)
指標3	歩行者数	人/日	4,300	9,800	8,278	確定 見込み ●	△	あり ● なし	7,403	H22年6月	△	再開発事業により交通動線が変化したため。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	測定地点では目標値には届かなかったが、事業地区全体としては大幅に増加した。(目標達成率77%)
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	業務床面積	m ²	8,500	/	16,000	確定 ● 見込み	/	/	16,000	H22年6月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	計画通り施設が竣工し、業務床面積についても集積が図られ、従前と比較して業務機能の充実が図られた。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

今後のまちづくり方策の検証

③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	周辺商店街も含めた駅前商業地域の更なる賑わいの創出	ひぐらしの里3地区の一体的な連絡調整組織を結成し、再開発組合解散後も連絡調整組織が継続的に運営するよう指導した。	3つの組織と連携しながら「荒川区交流都市フェアin日暮里」や「NN36 Festival in ARAKAWA」を開催した。また、再開発組合では3地区連絡協議会の新しい組織への移行に向けて検討中である。	駅前の賑わいを創出するためには、3地区のみでなく周辺商店街の協力が必要なため、今後はひぐらしの里3地区と周辺商店街の連携に向けて検討していく必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	定住人口の維持・改善	居住環境の向上や適切な維持管理のためにも、ひぐらしの里3地区で連携を図るよう指導した。	居住環境の向上については、現行の3地区連絡協議会で協議されている。	長年に亘って修繕計画に沿った適切な維持管理を行う必要がある。
	歩行者(来街者)数の更なる増加	駅前広場でイベントが実施できるよう地元・区・都が連携し、開放している。	イベント開催により区内外から多くの集客が図られ、日暮里地域の活性化に寄与している。	駅前広場のイベントの定着化を図り、多くの来街者を集める必要がある。

④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
地上レベルでの連絡性の向上。	既に3Fでは、歩行者デッキにより地区を自由に往来することが可能となったが、地上部で3地区間に横断歩道を設置することにより、地区の連絡性を更に向上させる。	平成22年度末	交通管理者と道路管理者との調整。